

おおやまだしょうがっこう  
大山田小学校だより

かせ

# そうぞの風

【URL】<http://www.iga.ed.jp/oyamada-e/>

2023.12.20発行

だいごう  
第15号

こうちょうしつ  
校長室より

## ねんもっこうきょうしつ 6年木工教室

12月1日（金）に6年生は、里山活用を考える「森の先生」芝野利夫さんをお迎えし、木工教室を行いました。

前半は、森林のはたらきについてお話を聴きました。森林には、①水を蓄える、②二酸化炭素を蓄える、③木材を生み出す、④動植物のすみかとなる、⑤土を支えるなどの働きがあり、私たちの生活と切り離せない大切なものであることを教わりました。また、「木」と「樹」のちがいについての話では、「樹は生きている自然にある木のことで、木は加工した木材製品にも使われること」を教えてくださいました。芝野さんは、50個のいろんな形のスプーンを子どもたちに見せ、「曲がり方や深さなどが違うのは、デザイン性や用途を考えて作ったから。同じスプーンでも一つひとつ違う」と話してくださいました。

お話の後に「マイスプーン」を作りました。ある程度形に切っただいてあるスプーンを子どもたちはいろんな種類の紙やすりで削りました。つるつるに仕上げたり、曲がっているところを生かしたり、一人一人が出来上がりを楽しみにしながら、夢中で削っていました。「家に帰ったら早速使ってみよ。」と喜んでいました。



\*この活動は、伊賀の森っ子事業で行い、材料費や講師料は「森の緑の県民税」を活用しています。

## ねんけんがく 3年アニース見学

12月11日（月）に3年生は、社会科の学習の一環として平田にあるアニースの見学をさせていただきました。

その見学の中で、お店の人から商品の並べ方や仕入れの仕方、より多くのお客さんに来店してもらうための工夫などについてお話を聴きました。アニースでは、時間帯によって来店するお客さんの年齢層が異なるため、より商品を選んでもらいやすいように、並べ方を工夫していると教えていただきました。また、背が低い人や子どもたちも手が届くように、商品を置く棚の高さを低くしていることも知りました。店内の入り口には、季節感が感じられるようにクリスマスの飾りが置いてあることを知ると、「そう言えば、前に来た時はハロウィンやったわ。」とつぶ

やく子もいました。お客さんの気持ちを一番に考え、来てくれる方に満足してもらおうとして  
いるお店の人たちの気持ちや工夫が分かりました。

この日は、普段あまり見ることのないバックヤードにも入らせてもらいました。バックヤード  
では、魚をパックする機械で包装をさせたり、肉をミンチにする機械を見せてもらっ  
たりしました。「お店に並んでいる商品は、こんな風に作られていたんだ。」と子どもたちは  
大興奮でした。また、映画やピアノの演奏会、カラオケ大会が行われるどんぐりホールも見学さ  
せていただきました。



## ねん 4年あわてんぼうさんとの交流会

### —あわてんぼうさん、今までありがとうございました—

これまで3年生の児童が社会見学でお世話になってきた「あわてんぼう」さんが、12月27日  
で閉店することになることを知り、3・4年生の子どもたちから「お世話になったので、自分た  
ちから何かお返しをしたい。」という話が出てきました。そこで12月14日（金）に、あわてん  
ぼうさんから10人のスタッフさんと社会福祉協議会の末廣さんに来ていただき、交流会を  
行いました。

交流会では、これまでの感謝の気持ちを込めて、歌を歌ったり、リコーダー演奏をしたりし  
ました。また、5・6年生がメッセージを書いた色紙をお渡ししました。代表の松崎さんからは、  
「忘れられない日になった。これまでお弁当を作り続けてきてよかった。あわてんぼうはなくな  
るけど、これからも地域のおじちゃんおばちゃんとして、みんなを応援する気持ちは変わらない。」  
とお言葉をいただきました。自由にお話する時間になると、子どもたちはあわてんぼうのみなさ  
んのところへかけ寄って行き、泣きながら「本当にやめるの?」「お弁当おいしかった。ありが  
とう。」と伝えていました。

交流会の後、松崎さんからお礼のお手紙とともに、「社会見学を欠席した子が、わざわざおう  
ちの人と一緒にあわてんぼうへ来てくれたんです。その気持ちが嬉しかった。」と教えていただき  
ました。人とのつながりを大事にされて活動されてきたあわてんぼうのみなさん、最後の最後まで  
子どもたちを大事にしてくださいありがとうございました。

